

保護者様

横浜市立笹野台小学校  
校長 飯田 雅人

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和3年5月27日(木)に実施した全国学力・学習状況調査(6年生)の結果を報告いたします。

## 〈教科別学習状況調査結果〉

(平均正答率)

	国 語	算 数
笹野台小学校	68	74
神奈川県(公立)	63	70
全国(公立)	64.7	70.2

◎ 国語、算数ともに全国平均・神奈川県平均を上回る結果であった。

## 〈国語〉

- 次の4つについての正答率が全国や神奈川県の平均を下回っていた。
  - ・「目的や意図に応じ、資料を使って話す」(話すこと・聞くことにおける思考力・判断力・表現力)
  - ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」(言語についての知識・理解・技能)
  - ・「文の中における主語と述語の関係を捉える」(言語についての知識・技能)
  - ・「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える」(言語についての知識・技能)
- ◎ その他については、全国や神奈川県の平均を上回っている。特に次の問題の正答率が全国・神奈川県の平均を大きく上回っていた。
  - ・「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」(読むことにおける思考力・判断力・表現力)
  - ・「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する」(読むことにおける思考力・判断力・表現力)
  - ・「思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う」(言語についての知識・技能)

## 〈算数〉

- 問題形式が記述式になると選択式よりも正答率が下がる傾向が見られた。
- 「速さと道のりを基に、時間を求める式に表す」(「変化と関係」知識・技能)の設問についてのみ、全国・神奈川県平均を下回っていた。
- ◎ 5つの領域(「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」)のすべてにおいて全国・神奈川県平均より正答率が高かった。特に「数と計算」の領域において、大きく上回っていた。
- ◎ 観点別にみると、「思考力・判断力・表現力」よりも「知識・技能」の方が少し高いが、全国・神奈川県平均との差に着目すると、「思考力・判断力・表現力」を問う問題の正答率の方が平均を大きく上回っている。

※ 以上の結果を踏まえ、国語科では、話すことにおいて、目的意識や意図を明確にすることや言語についての知識・技能を高める指導を、算数科では、答えを導き出すまでの過程とそう考えた理由を大切にするとともに、各領域における知識・技能をより高める指導をそれぞれ充実させていく。

## 〈生活習慣・学習習慣の調査から見てきた傾向〉

質問事項	笹野台小	全国平均
①朝食を毎日食べている。	83.9	85.8
②自分には、よいところがあると思いますか。	77.4	76.9
③毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	83.9	81.2
④家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	73.1	74
⑤将来の夢や目標をもっていますか。	80.6	80.3
⑥今住んでいる地域の行事に参加していますか。	71	58.1
⑦自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	73.2	70.1

※ たくさんの項目の中から抜粋して掲載しています。以上の結果を踏まえて、ぜひ親子で話し合っただけだとお思います。自分自身の今後のめあて、努力すべき点を見出すための、一つのきっかけとして活用ください。